

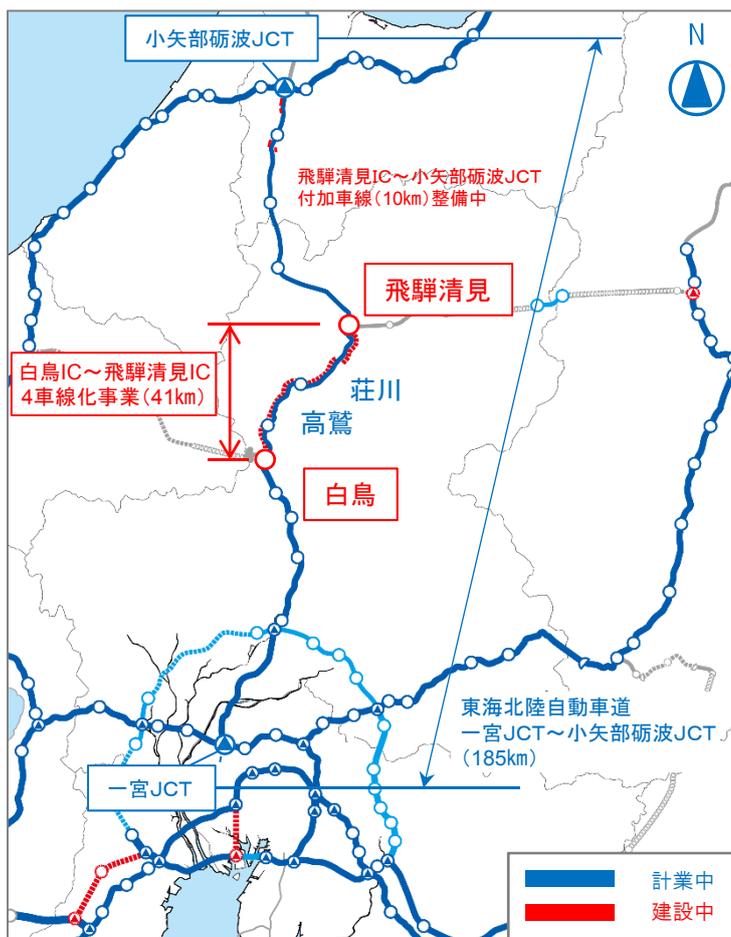
東海北陸道 白鳥IC～飛驒清見IC(4車線化)事業概要

東海北陸道は、名神高速道路と北陸自動車道を相互に連絡し、中部圏をはじめ、沿線地域の産業、経済、文化、観光などの発展および振興に資する延長185kmの高速自動車国道です。

2008年度に全線(185km)が開通。並行して暫定2車線区間の4車線化も順次進められ、2009年度までに、一宮JCT～白鳥IC間(76km)において4車線で運用しています。

白鳥IC～飛驒清見IC間(41km)の4車線化事業は、2012年度に事業化され、2018年度の完成を目指し鋭意事業を進めています。

また、飛驒清見IC～小矢部砺波JCT間(68km)の暫定2車線区間では、現在、速度低下箇所に加車線(10km)の整備を進めています。



【4車線化事業の工事状況】



(2018年10月)



(2018年9月)